

専門家と経験者から聴く

# グリーフケア講座

犯罪や交通事故、災害などで、親しい人を亡くした時の悲嘆に暮れる気持ち「グリーフ」と、  
悲しみが大きく深い人の心に寄り添い支える「グリーフケア」の実際についての講座です。



18 : 30 ~ 19 : 30

グリーフケアって何だろう？  
—基本的な考え方—

坂口幸弘（さかぐちゆきひろ）

関西学院大学  
人間福祉学部人間科学科教授



19 : 40 ~ 20 : 40

かけがえのない人を亡くすということ  
—遺族の体験から—

坂下裕子（さかしたひろこ）

こども遺族の会  
「小さないのち」代表

◆日時 平成 29 年 2 月 9 日 (木) 18 : 30 ~ 20 : 40

(10分休憩があります)

◆会場 勤労会館 308 号室 (定員 120 名) 神戸市中央区雲井通 5-1-2

◆受講料 無料

◆お問合わせ先

公益社団法人 ひょうご被害者支援センター

「グリーフケア講座」係

078-362-7512 (月~金 9:30~17:00)

◆主催 神戸市

◆お申込み期限 平成 29 年 1 月 26 日 (必着)



(受付が完了しましたら、受講証はがきをお送りしますので、当日、会場受付にてご提示ください)

## 18:30~19:30 グリーフケアって何だろう？ —基本的な考え方—

講 師	さかくちゆきひろ 坂口幸弘
プロフィール	関西学院大学人間福祉学部人間科学科教授。大阪大学大学院人間科学研究科博士課程修了、博士（人間科学）。専門は死生学、悲嘆学。死別後の悲嘆とグリーフケアをテーマに、主に心理学的な観点から研究・教育にたずさわる一方で、ホスピスや葬儀社、行政などと連携して実践活動も行ってきた。著書に「悲嘆学入門—死別の悲しみを学ぶ」（昭和堂）、「死別の悲しみに向き合う—グリーフケアとは何か」（講談社現代新書）などがある。
内 容	死別によって経験される悲嘆（グリーフ）を抱えた人々への支援は、「グリーフケア」あるいは「ビリーブメントケア」「遺族ケア」などと呼ばれています。「グリーフケア」という言葉をどこかで聞いたことがあって、興味や関心もあるけど、その中身はよく知らないという人も多いかもしれません。そもそも「グリーフケア」は本当に必要なのだろうか？私たちができることは何だろうか？ケアの目標はどこにあるのだろうか？本講演では、そんな根本的な疑問について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

## 19:40~20:40 かけがえのない人を亡くすということ —遺族の体験から—

講 師	さかしたひろこ 坂下裕子
プロフィール	こども遺族の会「小さないのち」代表。京都グリーフケア協会講師。宝塚大学助産学専攻科・上智大学グリーフケア研究所・慶應義塾大学看護医療学部非常勤講師。長女を亡くしたことをきっかけに、死別・悲嘆・遺族にまつわるテーマと向き合っている。著書に「小さないのちとの約束」「天国のお友だち」「いのちって何だろう」（いずれもコモンズ）。大阪音楽大学卒業、武庫川女子大学大学院修了
内 容	思いもよらない死別に直面し、突然遺族という立場になって、住む世界がすっかり変わりました。限りなく深い悲しみの奥を見ました。知ったのは悲しみだけでなく、心の傷口から染み入る人の優しさもです。感じ方、考え方、ものごとの見え方が、独特だったなあと振り返ります。当日は私自身が経験したグリーフとグリーフケア、そしてこれまでお話を聴かせてくださった数多くのご遺族が教えてくださったそれについて、日常に起こりうる身近な話をしたいと思います。

### お申込み

お電話でのお申込みはできません。

① お名前（ふりがな） ② 郵便番号・ご住所 ③ お電話番号を明記のうえ、下記までお申し込みください。

【はがき】 〒650-0011 神戸市中央区下山手通 5-1-3-5  
公益社団法人 ひょうご被害者支援センター 「グリーフケア講座」 係  
【FAX】 078-362-7787

※お申込みの際いただいた個人情報は、本講座に関する連絡以外には使いません。